

J-SHINEについて

特定非営利活動法人 小学校英語指導認定協議会（略称：J-SHINE）は、日本における「小学校での英語教育の普及・発展を支援する」という趣旨のもと、2003年に申請を行い、民間主導で設立された指導者資格認定を行うNPOです。登録団体において児童英語教育の講座を修了した者に『小学校英語指導者資格（J-SHINE資格）』を付与しております。この資格は学習指導要領に基づいた、J-SHINE独自の共通カリキュラムで児童英語指導に必要な基礎を学んだことを証明するものです。

2018年6月現在、約40,000人の有資格者がいらっしゃいます。

◆ ミッション

J-SHINEでは日本の小学校での英語教育を促進するため、全国の教育関係諸団体が協力して小学校英語の指導者の養成をはかり、全国の教育現場での小学英語活動を支える体制を作り上げます。また、小学校英語教育を推進する事業を行い、その成果をもって日本の英語教育の発展に努めます。

◆ ビジョン

小学校英語の広がりを支える

◆ 活動の概要

- ・ 小学校英語指導者資格認定事業
- ・ 小学校英語活動の普及とその支援事業
- ・ 教育の国際交流を促進する教育団体に対する支援事業



特定非営利活動法人 小学校英語指導者認定協議会 会長

吉田 研作

上智大学特別招聘教授／言語教育研究センター長

著書：『小学校英語教科化への対応と実践プラン』など多数

いよいよ、2020年から小学校外国語（英語）が正式な教科として導入されることになりました。2011年に外国語活動として導入されてから現在までかなりの成果があったことが各種の調査で明らかになっています。子どもたちは英語が楽しいと答え、小学校の教師も中学校の教師も子どもたちが外国語や外国の文化等について興味を持つようになった、また英語でコミュニケーションすることに積極的に取り組んでいると報告しています。

J-SHINEは、設立当初から一貫して小学校における英語教育のあり方について議論を重ねながら、シンポジウムや研修会を実施し、英語が指導できる指導者の育成のみならず、指導者を養成するためのトレーナーの育成に力を入れてきました。その甲斐があって、現在では、トレーナーが全国各地で英語指導者の研修に携わっています。

J-SHINEとして、今回は、教科としての英語教育に対応した新たなカリキュラムを発表しましたが、登録団体にもそれに基づいた新たなプログラムを策定していただくことになります。また、これからは英語指導者にも、小学校における教科としての英語の教え方についてしっかり学んでいただき、2020年から始まる英語教育の新時代に対応していただかなければなりません。

J-SHINEが果たさなければならない役割は、今後益々大きく、大切なものになります。みなさんと一緒に日本の小学校の英語教育を成功させましょう。

J-SHINE 資格の種類

J-SHINEの資格は6種類（2018年6月現在）。

資格取得後も指導経験を積む、英語力を高めるなど、有資格者の学び続ける意欲を応援します。

経験指導時間

400時間

小学校英語上級指導者



「小学校英語指導者」資格を取得した後、小学校での指導時間数が200時間を超えて、小学校長もしくは教育委員会から認定を受けた、優れた指導者としてJ-SHINEが認めたものです。

小学校英語上級指導者+ NEW



「小学校英語上級指導者」資格の要件に加えて認定者自身の英語力を認定するものです。

上級指導者の指導経験時間は小学校の通常授業での指導に限る

200時間

小学校英語指導者



小学校での英語活動・英語教育を行う上で、必要な知識と技能を有するとJ-SHINEが認めたもので、「小学校英語指導者」はJ-SHINEの認定する資格すべての基本となる資格です。

小学校英語指導者+ NEW



「小学校英語指導者」資格の要件に加えて認定者自身の英語力を認定するものです。

50時間

小学校英語準認定指導者



「小学校英語指導者」資格を付与するには指導経験時間が不足しているが、指導者として一定の技能と知識を有していると認定するものです。

まずはここからスタート!!

CEFR B2程度

英語力



J-SHINEのホームページ

資格の種類

にアクセス